

事務事業評価シート

事業種別	継続	単独	事業類型	ソフト事業	1次評価のみ対象分
------	----	----	------	-------	-----------

事業名	996	同和問題啓発事業	区分	01	一般会計
基本施策	38	互いを認め合い、すべての人の人権を尊重する	コード	10	教育費
施策	2	人権・同和教育の充実	項目	05	社会教育費
			目	03	同和教育費
			細目	103	同和問題啓発事業
			細々目	01	同和問題啓発事業
基本計画該当頁	147	担当部課	コード	655000	評価者
行革大綱の重点事項番号		名称		教育委員会阿山分室	氏名
					森本勝美
				連絡先	43 - 0154 (内線)

事業の計画・内容

事業目的	対象等(何が、誰が)	阿山地区住民 (対象件数)	成果(どうなるのか)	地域住民の心の中をみつめなおす機会として「あやま人権・同和問題学習講座」を開催することにより、より確かな理解と認識が深められ、人権意識の改革に貢献できる。
開始年度	平成	年度	関連事業	
終了年度	平成	年度	根拠法令・要綱等	人権教育及び人権啓発の推進に関する法律
本年度事業内容			状況変化等	あやま人権・同和問題学習講座(講演会3回・トーク&コンサート1回)年間4回実施

整備内容

1 建設用地	千円
2 建設面積(延床面積)	
3 規模・構造	
4 総事業費	

運営体制

1 運営主体	<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 民間委託等
委託先	()
2 配置(予定)人員	人
3 年間運営費	千円
4 市内の類似施設	

事業実績

活動指標	単位	実績値		目標値	
		H17	H18	H19	H20
あやま人権・同和問題学習講座	回	実績 4	目標 4	4	4
		目標	目標		
		実績	実績		
		目標	目標		
		実績	実績		
		目標	目標		
		実績	実績		

評価指標

事業の成果を測る指標	指標設定の考え方	単位	実績値		目標値	
			H17	H18	H19	H20
参加延べ人数	あやま人権・同和問題学習講座への参加者の総数を指標とした	人	目標 600 実績 532	目標 600 実績 469	600	600
			目標	目標		
			実績	実績		

評価

評価項目	ポイント	評価項目についてのコメント
必要性	4	差別の実態がある限り、行政の責務として、人権啓発は必要である。
有効性	3	地道に意識を変えていくため、学習講座は有効。
達成度	3	1回平均150人の目標に達しなかった。
効率性	4	4回の講座のうち1回をあやまづくり市民会議と共催とし、経費の削減を図った。

総合評価	事業の方向性	改善についての取り組み
A	現状維持	講師の専門ジャンルを偏らないようにする。

進捗状況	年度	平成17年度 決算内容				平成18年度 決算内容				平成19年度 計画内容				平成20年度 計画内容				
		事業内容	数量	単位	金額(千円)	事業内容	数量	単位	金額(千円)	事業内容	数量	単位	金額(千円)	事業内容	数量	単位	金額(千円)	
委託		人権・同和問題学習講座			217	人権・同和問題学習講座			157	人権・同和問題学習講座			365	人権・同和問題学習講座			365	
工事																		
進捗率(%)		事業費計(A) 217				事業費計(A) 157				事業費計(A) 365				事業費計(A) 365				
		事業投入人員	人件費(B)	0.4	人	2,880	人件費(B)	0.4	人	2,880	人件費(B)	0.4	人	2,880	人件費(B)	0.4	人	2,880
		フルコスト(A)+(B) 3,097				フルコスト(A)+(B) 3,037				フルコスト(A)+(B) 3,245				フルコスト(A)+(B) 3,245				

事業費(人件費除く)の財源内訳

(A)	事業費	217	157	365	365
Aの財源内訳	国庫支出金				
	県支出金				
	地方債				
	受益者負担				
	その他				
備考	特定財源の名称・補助基本額・率	217	157	365	365
	地方債の区分と充当率等	217	157	365	365